

小学校入学から中学校卒業までの9年間で『復習・予習→授業→復習・予習』のできる子どもに育てましょう。

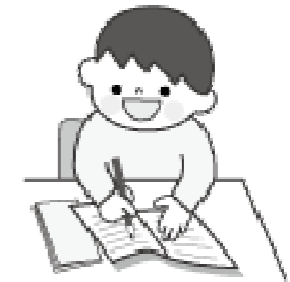
家庭学習は、学校で学習したことをしっかり身につけるために、また、自ら学ぶ習慣を身につけるためにとっても大切なものです。
家庭と学校が協力して、家庭学習の習慣化をめざしましょう。

発達段階	家庭学習のめあて	かかわり方のポイント	学習時間の目安
低学年 家庭学習の習慣を身につけるスタートライン	習慣化する→与えられた課題中心 ☆学校の宿題のほかに短時間でできるものを組み合わせ、30分程度でできる内容を考えましょう。	一緒にいてやる気をおこす	30分程度
中学年 好奇心旺盛な中学年は、学習意欲を高める時	自分の学び方を身につける。→自主学習の導入 ☆学校の宿題のほかに、短時間でできるものとじっくり取り組むものを組み合わせ、50分程度でできる内容を考えましょう。	認め、ほめて、自信をつける	50分程度
高学年 中学年に向けて自主性を育てる時	計画的・主体的に学ぶ。→自主学習中心 ☆学校の宿題のほかに、じっくり取り組むものを中心に、1時間20分程度でできる内容を考えましょう。また、中学校に向けて、自分で計画的に学習できる力をつけることが大切です。	見守って、伸ばす	1時間20分程度
中学校 自覚と納得の中で進める時	計画的・主体的に学ぶ。→復習・予習 ☆子ども自身が自分で学習内容を判断し、計画的に学習できることが大切です。 ☆予習は授業中の理解を深め、復習は知識を定着させます。	見守って、伸ばす	2時間程度

安心・集中して学ぶことのできる家庭の環境づくり

【学ぶ雰囲気をつくりましょう】

- 《学習に集中する4つのポイント》
- ① 学習するときは、テレビを消す。
 - ② 机の上をきれいにする。
 - ③ よいしせいで、机にむかう。
 - ④ 文字をていねいに書く。



【生活のリズムを整えさせましょう】

- 《学力アップは規則正しい生活から》
- ① 早寝・早起き
 - ② 朝食を必ずとる。
 - ③ 自分からあいさつ
 - ④ 家の手伝いをする。
 - ⑤ テレビを見る時間(ゲームも含めて)を決める。
 - ⑥ 自分で時間割や学習用具をそろえる。



【努力をみとめ、励ましましょう。】

- 《やる気を引き出す家庭の協力》
- ① 子どもがやりとげられるように声かけ励ましてあげてください。
 - ② 子どもがたずねてきたら、できる範囲で答えてあげてください。
 - ③ 子どもとたくさん対話しましょう。

